

町会だより 和田三丁目東町会

2012 正月号



年頭のご挨拶

和田三丁目東町会の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は未曾有の大震災、原発事故と放射能汚染、台風災害等々に立て続けに見舞われた、一生忘れることが出来ない悲しい一年でした。祝賀の言葉はご遠慮なされる向きもあるでしょうが、この厳しかった旧年を町会員の皆様が頑張って乗り越えられて、無事に新年を迎えられましたことを素直にお慶び申し上げたいと思います。



被災地から発信されたいろいろな状況を見聞する中で、地縁社会で培われてきた

共助的な「人のつながり」の大切さが表立って認識評価されて、「絆」という昨年のキーワードになったことはご承知のとおりです。振り返って見ますと一昨年の平成22年は秋の国勢調査を控えて、全国的に住民票上だけでの架空の超高齢者の生存が取沙汰され、「孤独死」や「無縁社会」が大きな社会問題になりました。この一連の流れを考えると、日本の社会全体がいつの時代からか「プライバシー」という表現

で、大切に守るべき地縁の「絆」までも、余計なシガラミとして拒絶するような、行き過ぎた「個人」尊重主義の風潮に、軌道修正を促す天啓のようにも思えます。

大きな被災のダメージから立ち直ろうとするこの時に、「絆」の大切さを否定



朝焼けに映える富士山

する人はいないでしょうが、「絆」は「頑張ろう」という掛け声だけで強まるものではありません。自分に何等かの縁のある人に対する「いたわりと思いやり」という人としての本能的な心の要素が不可欠からです。

町会の活動ではいろいろな情報提供やイベントを通して、健全な地縁の維

持を心掛けて、「安心・安全な街づくり」また同日には応援イベントとして、杉

を目指して努力してまいります。地縁並公会堂で震災以降の区の活動についての「絆」の押し売りは絶対に無理なので、ビデオ上映があり、日フィル四重奏す。町会員の皆様一人ひとりのわが街の演奏や前警視総監の池田さんの講演を愛する気持ちが決め手です。

わが街を愛する気持ちを持ち寄って、参加願いたい。

2、歳末パトロール実施報告

更に「絆」を強める努力のために、新しい年の町会活動に旧倍のご理解とご支援を賜りますように心からお願ひ申し上げます。

末筆ながら町会員の皆様の本年のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

会長 志達 和雄

1 報告事項

1 1月度役員会・班長連絡会（1月11日）

1. 報告事項

* 12月11日に実施された中学駅伝では、高南中は男子4位と健闘した。女子は19位に終わった。因みに優勝校は男子が天沼中、女子は高井戸中であった。

* 平成24・25年度「明るい選挙推進委員の委嘱依頼があったが、引き続き南城さんにご担当いただくことになった。

* 南相馬市は第3回目の義援金3000万円が12月に贈られた。これまでの合計で1億8000万円になったことになる。募集期間は3月末で終了するが、南相馬市が設置を計画している「南相馬市みらい夢基金」の応援のため、3月

11日には区内の駅頭で募金を実施する

贈呈した。

3、新成人のお祝いについて

3、新成人のお祝いについて

* 対象は13名で2000円の図書券を贈呈した。

4、新年懇親会について（1月24日）

* 開催場所が区民集会所では遠すぎるとのクレームがあることが報告され、連絡会終了後の総務役員の話し合いで急遽木村ビル地下集会所に変更された。

5、蚕糸の森祭りについて

* 昨年は中止になったが、今年は3月25日（日）開催に決まった。

6、その他

* 郵便局前の掲示板の立て替えについては、助成金申請の手続きは実施済み、区の対応待ちの状況である。

* 来年度のバス旅行は6月に本格的梅雨前の開催を前提に計画する。

* 来年度の通常総会は5月19日（土）、新班長会は5月26日（土）開催で準備。